



豊橋市立福岡小学校

令和 2 年

10 月 26 日

第 7 号

## 市内小学校 交流戦 10月24日 (土)

コロナウイルス感染症対策として、例年の球技大会を近隣の小学校による交流戦に変更しました。また、参加人数を制限するとともに、無観客での実施としました。各会場において保護者の応援は遠慮いただくこととなりましたが、趣旨をご理解いただき、ご協力をいただいたことに心より感謝いたします。

交流戦には、サッカー部、バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部が参加しました。コロナウイルス感染症対策のため、部活動の練習や練習試合の回数も例年に比べ少なくなりましたが、子どもたちは日々の練習で着実に成長していきました。さらに、交流戦で試合をする度に、プレーが積極的になったり、応援やオフィシャルの動きもよくなったりしていきました。

交流戦を通して、男子バスケットボール優勝、女子バスケットボール1勝、バレーボール1セット奪取、サッカーPK戦惜敗など、それぞれドラマがありました。嬉しい思いをした子がいた反面、悔しい思いをした子もいたと思います。ただ、これらの経験をこれからの生活や学習にいかすことが大切だと思います。試合で苦しいときチームメイトと声をかけ合って乗り越えることの大切さ。練習したプレーがうまくできたときの満足感。逆に、こんな練習をしておけばよかったといった反省など。

福岡小学校で行われた男子バスケットボールの閉会式で、私は、子どもたちに交流戦の様子を保護者の方に話すように伝えました。話すことによって、部活動を通して学んだことや感じたことを整理できるとともに、活動を支えてくださった保護者の方へのお礼になると思ったからです。まだ、お子さんがお話をしていないようでしたら、ぜひ保護者の方から交流戦の様子を聞いていただければありがたいです。

